

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)





図記号の意味と例

	ⓧは、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、ⓧの中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

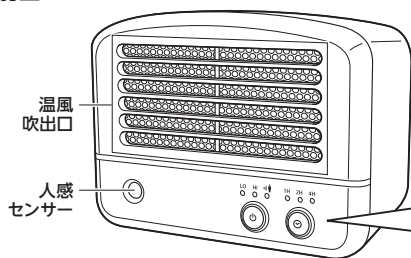
	禁止	<p>交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。</p> <p>電源コードを傷ついたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。</p> <p>電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。</p> <p>子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。</p> <p>本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。</p> <p>高温になる場所、湿度の高いところ、直射日光の当たるところ、コンロなどの火気の近く、引火性のガスのあるところ、屋外など雨や風の当たるところなどに設置しない。 故障・感電・けが・火災の原因になります。</p> <p>スプレー缶などを本体の近くに置かない。 爆発・火災の原因になります。</p> <p>本体に衣類やふとんなどを掛けて使用しない。 過熱して、火災・やけどの原因になります。</p> <p>就寝中は使用しない。 寝具などが触れて火災の原因になります。</p> <p>雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。 感電の原因になります。</p>		使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。
	指示	<p>電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。</p> <p>定格15A以上の壁コンセントを単独で使う。 他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火することがあります。</p> <p>電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。</p>			
	プラグを抜く	<p>使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災・故障の原因になります。</p> <p>お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。</p>			
	分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシヤお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。			
	ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。			
	水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。			

⚠ 注意

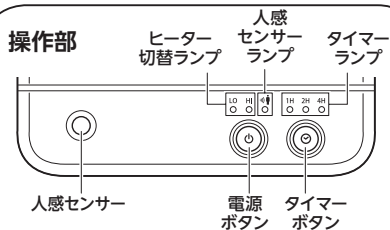
 禁止	壁や家具の近くで使わない。 熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因になります。	 禁止	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。
	カーテンやふとんなど、燃えやすいものの近くで使わない。 火災の原因になります。	 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。
	乾燥など他の用途に使用しない。 過熱して発火の原因になります。		お手入れや持ち運び、保存の際は、本体が冷めてから行なう。 火災・やけどの原因になります。
	使用中は本体から離れない。 火災の原因になります。		運転をする際は、必ず背面カバー、活性炭フィルターを取り付ける。 背面カバー、活性炭フィルターを取り付けずに運転すると、火災・故障の原因になります。
	犬やネコなどのペット暖房用には使用しない。 ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になります。	 接触禁止	使用中や使用後しばらくは、温風吹出口（高温部）に触れない。 やけどの原因になります。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けが・火災の原因になります。		

各部の名称とはたらき

前面



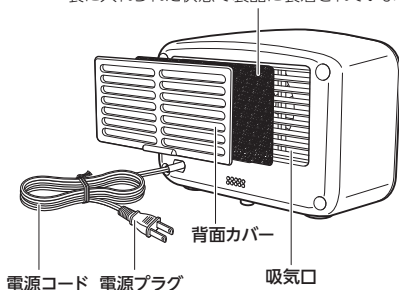
操作部



背面

活性炭フィルター

お買い上げ時は背面カバーに取り付けられ、ポリ袋に入れられた状態で製品に装着されています。

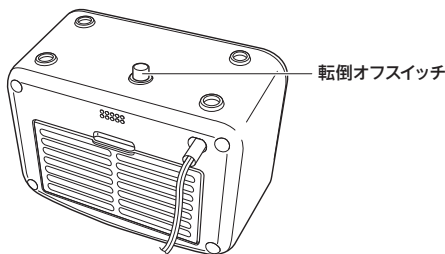


付属品



活性炭フィルター×1

底面



安全装置について

- 使用中に転倒したときは、転倒オフスイッチが働き、電源が切れます。
 - 温度が上昇しすぎると、サーモスタットが働き、自動的に運転を停止します。
- さらに温度が上昇すると、温度ヒューズが働き、運転回路を遮断します。(温度が下がっても運転は開始されません。販売店またはドウシヤお客様相談室(裏表紙参照)にご連絡ください。)

人感センサーについて(「人感センサー運転」時のみ有効)

人の動きを感知して自動的に運転を開始します。人がいなくなると、約2分後に暖房が停止し、さらに8分後に脱臭(送風)運転が停止します。

※ センサー感知範囲は左右合わせて約45度、上下合わせて約45度、センサー到達範囲は約1mです。

⚠注意

- 使用中は本体から離れない。
- 本体を移動させる場合は、本体が冷めてから移動させる。
- 使用中や使用後しばらくは、温風吹出口に触れない。

正しい使いかた

使用前の準備



- ご使用前に、必ず背面カバーをポリ袋から出してから取り付ける。故障の原因になります。
- 運転する際は、必ず活性炭フィルターを取り付ける。活性炭フィルターを取り付けずに運転すると火災・故障の原因になります。

1. 背面カバーを取り付ける

(1) ポリ袋に入れられた背面カバーをはずす
背面カバーのツメを倒し、少し力を入れて手前に引くとはずれます。

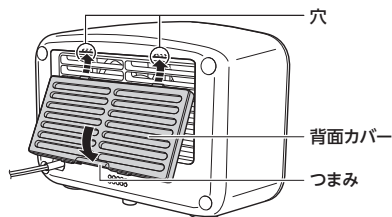
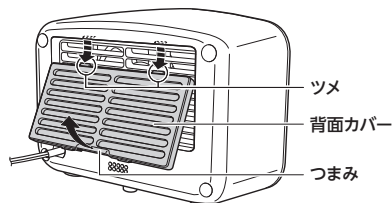
(2) ポリ袋から背面カバーを取り出す

※ 活性炭フィルターやポリ袋に黒い粉（活性炭）が付着していることがありますが、性能に影響ありません。

※ 活性炭フィルターがしっかりと背面カバーに取り付けられているか確認してください。取り付けが不十分な場合はしっかりと取り付けてください。

(3) 背面カバーを取り付ける

背面カバーの突起部を、本体側の穴に差し込み取り付けてください。



正しい使いかた (つづき)

2. 本体を水平な場所に設置する

安定した水平な場所に設置してください。(右図)

※ 近くに可燃物がないことを確認し、可燃物がある場合は、移動させてからご使用ください。

3. 電源プラグをコンセントに差し込む

“ピッピッ”という音が出ます。



- 定格15A以上の壁コンセントを単独で使用する。

他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火の原因になります。

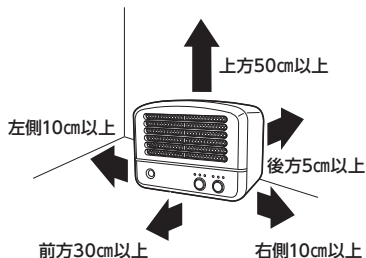
- 本体に衣類などをかけて使用しない。火災・やけど・本機の故障の原因になります。

- 電源コードを束ねたまま使用しない。電源コードの発熱・発火の原因になります。

外出等で本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。

安全装置が動いて、ヒーターが停止していることがあります。温度が下がると自動的に運転を開始しますので、消し忘れ・火災の原因になります。

本製品は壁や周囲から適当な距離を保ってください。(火災の原因になります)

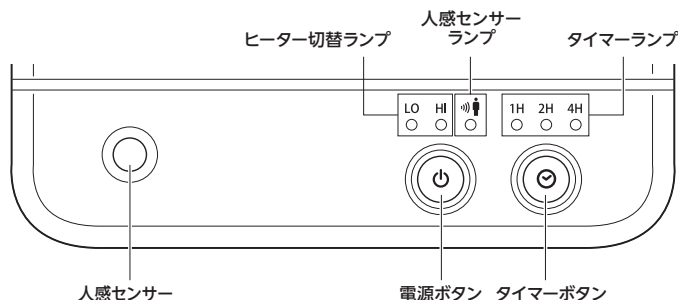


次のような場所では使用しないでください。

※ 毛足の長いカーペットや座布団の上などの不安定な場所 (本体が傾いたり、浮いたりして、転倒や転倒オフスイッチの誤動作の原因になります。)

運転の開始/停止




操作部



1. ④電源ボタンを押して運転を開始する

④電源ボタンを押すと電源ランプが点灯して、LO (弱)、連続運転モードで運転を開始します。

2. ④電源ボタンを押して、運転モードを設定する

ボタンを押すごとにLO (弱)・HI (強)・LO+・HI+ (Ⓜ)  人感センサーモード) に切り替わり、ヒーター切替ランプ、人感センサーランプが点灯します。(右枠参照)

※運転モードを切り替えても、温風吹出口から出る温風の風量は変化しません。



3. 運転を停止する

④電源ボタンを何回か押して、ヒーター切替ランプと人感センサーランプが消灯すると運転を停止します。

※運転を停止後、冷却するため約30秒間送風したのちに電源が切れます。



- 冷却のための送風が終わるまで電源コードを抜かない。故障の原因になります。
- 送風が終わってもすぐに温風吹出口には触れない。やけどの原因になります。

①連続運転モード

設定された状態のまま、連続運転をします。

※連続運転モードのときは人感センサーは動作しません。

切り忘れ防止機能

本体を最後に操作してから約12時間経過すると、運転が自動的に停止します。

② 人感センサーモード

人の動きを感知して自動的に運転・停止を行いません。

- 人を感知しなくなってから約2分後にヒーターが切れ、ヒーター切替ランプと人感センサーランプが点滅し、約8分間送風運転したあと、運転を停止し、待機状態になります。

待機状態のときに、人の動きを感知すると、待機前と同じ運転を再開します。

- ヒーター切替ランプ (LO/HI)、人感センサーランプは点滅から点灯に切り替わります。

待機状態時に人の動きを感知すると暖房運転を開始します。

※センサー感知範囲は左右合わせて約45度、上下合わせて約45度、センサー到達範囲は約1mです。

切り忘れ防止機能


人を感知しないまま12時間経過すると、人感センサーモードを終了して停止状態になります。


正しい使いかた (つづき)

切タイマーの設定

切タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を停止させることができます。

1. 運転中、 タイマーボタンを押して切タイマーの時間を設定する


 タイマーボタンを押して、切タイマーの時間を設定することができます。

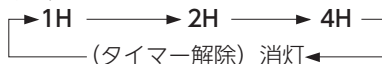
-  タイマーボタンを押すたびにタイマーランプが1H・2H・4H・(消灯)と変化します。
- 切タイマーを設定したのち、時間の経過とともに、切タイマーが作動するまでの時間を表示します。

2. 切タイマーをキャンセルする

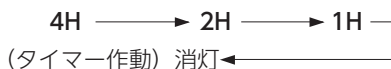
 タイマーボタンを何回か押して、タイマーランプを消灯させます。

- ※ 人感センサーモード中に切タイマー時間が経過すると、すべての運転が停止し、それ以降は運転を開始しなくなります。

 タイマーボタンを押すたびに次のように切り替わります。



タイマーランプは時間がたつと次のように切り替わります。



1H 2H 4H
○ ○ ○



お手入れと保存



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めたことを確認する。
感電・けが・やけどの原因になります。

本体のお手入れ

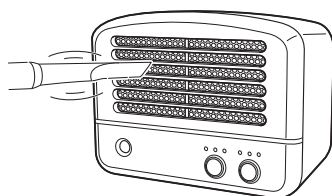
本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。（強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。）

※ オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用洗剤を使用しない。

変色・変形させる原因になります。

温風吹出口のお手入れ

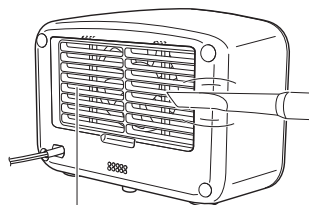
掃除機でホコリを吸い取ってください。



吸気口のお手入れ

掃除機でホコリを吸い取ってください。

※ ホコリがたまらないように、お手入れを行なってください。



吸気口

活性炭フィルターのお手入れ

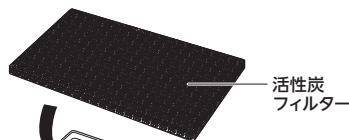
下記の手順に従って行ってください。

- ① 本体背面カバーを取りはずす
- ② 背面カバーから活性炭フィルターを取りはずす
- ③ 活性炭フィルターのゴミやホコリを手や掃除機でいねいに取り除く
- ④ 背面カバーに活性炭フィルターを取り付ける
- ⑤ 背面カバーを本体へ取り付ける

※ お手入れのあとは、必ず活性炭フィルターを取り付けた背面カバーを本体に取り付けてください。

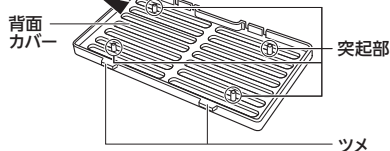


活性炭フィルター



活性炭フィルター

活性炭フィルターは水洗いできません



背面カバー

突起部

ツメ

お手入れと保存 (つづき)

活性炭フィルターの交換

活性炭フィルターをお求めの際は、本体お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にお問い合わせください。

※ 活性炭フィルターは消耗品ですので、保証期間中でも「有料」とさせていただきます。

【活性炭フィルター】

約6ヶ月間使用を目安に交換してください。
汚れがひどくなったりした場合などは、交換してください。

※ 活性炭フィルターは水洗いできません。

交換用活性炭フィルター 商品名 活性炭フィルター (1個) 型番 ACFT-CHT061
--

ドウシシャのパーツ購入はドウシシャマルシェのご利用が便利です。



ドウシシャマルシェがご利用できない場合は、お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（➡裏表紙）へお問い合わせください。

お願い

- ※ 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ※ 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きにしたがってください。
- ※ 本体に直接、水をかけて洗わないでください。（感電・故障の原因になります。）



保存のしかた

- ※ お手入れの後、よく乾燥させてください。
- ※ ポリ袋などに入れ、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に入れ、湿気の少ない場所に保存してください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	・電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをしっかりと差し込んでください
	・安定した水平な場所に置かれていないため、転倒オフスイッチが働いている	安定した水平な場所に置くなど、置き場所を確認してください
	・安全装置（温度ヒューズ）が働いている（4ページ参照）	販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にご連絡ください
突然電源が切れた	・切タイマーが設定されていた	再度電源を入れてください。
	・連続モードで約12時間使用を続けている（切り忘れ防止機能によって自動的に電源が切れた）	再度電源を入れてください。
風量が少ない 脱臭効果が感じられない	・活性炭フィルターを開封・取り付けしていない	「使用前の準備」を正しく行なってください（5ページ）
Ⓞ電源ボタンで切に していないのに運転 を停止している	・製品内部の温度が高くなってサーモスタットが働いている（4ページ参照）	製品内部の温度が低くなると動き出します。温風吹出口や吸気口に物がある場合は取り除いてください
		吸気フィルターが汚れて吸気ができずに温度が上がってしまうことがあります。フィルターのお手入れをしてください（9ページ参照）
Ⓞ電源ボタンで入に していないのに運転 を開始した	・  人感センサーモードが設定されていて、動作を開始した	Ⓞ電源ボタンを押して  人感センサーモードを解除するか、Ⓞ電源ボタンを押して電源を切ってください
Ⓞ電源ボタンを押して 運転停止しても、 ファンが回っている	・ヒーターを冷やすために約30秒間、ファンが回ったままになります	ファンが回っているのが約30秒なら問題ありません

長年ご使用のヒーターはよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

故障・修理についての
ご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

☎0120-104-481

【受付時間】9:00~17:00 (祝日以外の月~金曜日)

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター 〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

- ※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。
- ※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。
- ※ メールでのお問い合わせ、仕様などのご確認は、ドウシシャ公式オンラインストア【ドウシシャマルシェ】の家電サイトをご参照ください。

商品に関する Q&A

お客様サポートセンター

[http://www.doshisha.co.jp/support/
faq/appliance.html](http://www.doshisha.co.jp/support/faq/appliance.html)



ドウシシャのパーツ購入は **ドウシシャマルシェ**

DOSHISHA Marché 公式オンラインストアで
ONLINE STORE

<https://www.doshisha-marche.jp/>



こちらの
QRコードを
読み込んで
ください